

しもつけ文化財探訪

第6回 横塚古墳

今月の文化財探訪は、下古山に所在した横塚古墳です。横塚古墳は、現在の旧石橋中学校校庭にあった古墳です。前方部を西側に向けた前方後円墳で、墳丘の大きさは、全長約52mで、墳丘のまわりには幅約10～17mの周溝がめぐっていたと考えられます。また、墳丘の裾部からは馬や人物などの形象埴輪を含む円筒埴輪列が見つかりま



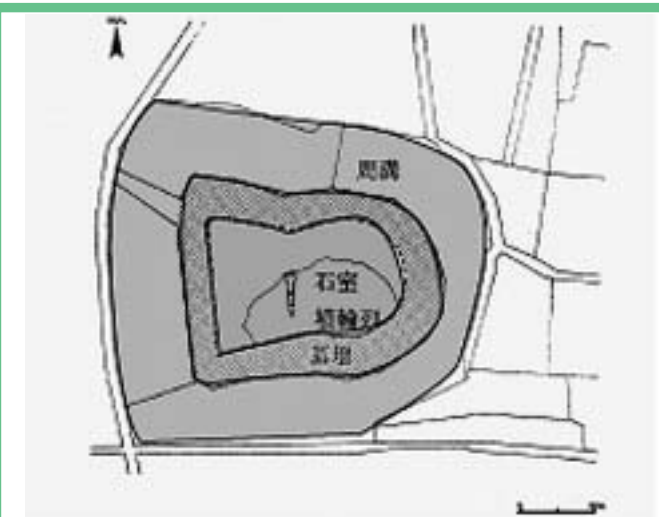
す。埋葬施設は、南に開口する横穴式石室で、くびれ部に近い前方部で見つかりま

す。石室は玄室、前室、羨道(墓道)からなり、全長は約11mあります。側壁はすべて河原石の小口積みで、奥壁や天井石には凝灰岩が使われていました。石室内からは直刀や鉄鏃などの武器類や挂甲(鎧の一種)馬具類、金環・銀環などの装身具類や須恵器などが出土しており、これらの遺物から今から約1,400年前の6世紀後半に築造されたと考えられています。

なお、横塚古墳は昭和28年に旧石橋中学校の校庭の拡張に伴い発掘調査が行われた後に削平され、現在では、石室の奥壁に使われたと考えられる凝灰岩が残されているのみです。また、出土した埴輪の一部(円筒埴輪、形象埴輪)は現在テーマ館で保管・展示しています。



横塚古墳の埴輪



形象埴輪

問い合わせ先
下野市教育委員会
文化課文化財係
☎52-1120

次回は「別処山古墳」を探訪します。